

地域人材ネット

専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進
プログラム

工藤 一郎 (くだう いちろう)

エコアンドアートテクニカ(個人事業) 代表



○ 登録者情報

所在地

東京都東久留米市

略歴

- ・1975年3月 東京大学工学部航空学科卒業
- ・1975年4月 富士重工(株)入社(エンジン設計、振動騒音研究、環境対応パワーユニット開発)
- ・1997年9月 スバル開発本部主管(フォレスター車開発)
- ・2006年4月 同社常務執行役員・技術本部副本部長兼技術開発所長
(ハイブリッドパワーユニット、2次電池、安全デバイス、ステレオカメラ等開発)
- ・2007年6月 スバルテクニカインターナショナル(株)社長(モータースポーツWRC参戦指揮)
- ・2010年6月 エコアンドアートテクニカ代表
- ・2011年4月 ソーラーフロンティア(株)技術アドバイザー
群馬大学次世代自動車研究会(エネルギーM分科会会長)、竹田市政策審議官、
特定非営利法人16歳の仕事塾講師、豊後大野市郷土の先輩特別授業講師、
豊後大野市総合戦略アドバイザー、NPO法人大分人祭り理事

著書・論文等

- ・日本機械学会 動力エネルギーシステム部門ニューズレター(2010/11/08)「電気自動車開発の現状と動向」
- ・自動車技術(2007/9月号)巻頭文「ラリーの世界とパワーユニットの進化」

○ 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

取組の内容

熟練技術者を活用したものづくり実践教育—首都大学東京・都市教養学部・機械工学コースにて
非常勤講師として自動車工学および地球環境論およびエネルギー論を講義(2009年2010年)



高校授業風景

実績

首都大学東京・都市教養学部機械工学先端講義第二として
「環境対応自動車の新技術とモータースポーツ(EVからF1まで)」—学生約40人—2コマ×8回
EV(プラグインステラ)の試乗、富士重工業・スバル技術本部見学も含め好評(学生感想文等あり)

工夫した点や苦労した点

現場・現物を大事に、ということを教えたかったので、毎回エンジンの部品、リチウムイオン電池、EVそのもの等を持ちこんで見て触ってもらった。自動車の新技術と言うことで、エンジンだけでなく、自動車開発を一緒にやった車体の開発エンジニアにも声をかけて これも現物をベースに講義をしてもらった。

ひとことPR

最近「NPO/16歳の仕事塾」(下記)でも高校生(ときに中学生)にもものづくりについての授業をしている。

<http://www.shigotojuku.jp/post/1363.html>

「ぶつからないクルマ」のアイサイトシステムなどを持ちこんで見て触ってもらっているが、女子を含めてこれからは自動運転車など面白い仕事がありそうだという感想文を書いている。自動運転技術は高齢化社会でのモビリティ確保のために有望な技術であり、地方創生のなかでも検討して行かねばならない。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策	○	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

竹田市写真ニュース	https://www.city.taketa.oita.jp/photo_news/?id=420
NPO大分人祭り	http://oitajin.org/greeting.html

連絡先

メールアドレス	ikudoh[アットマーク]bc.ij4u.or.jp	その他	
---------	-----------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る